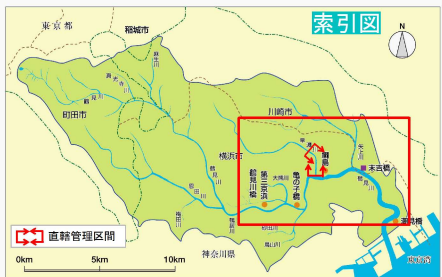
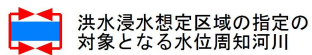


鶴見川水系早淵川洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))



凡 例

 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)



河川等範圍

----- 市町村界

—— 区界 ——

資料14

鶴見川水系早淵川洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流））

1 説明文

(1) この図は、鶴見川水系早瀬川の水位周知区域について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を示した図面です。

(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、現時点の早瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を基として、想定最大規模降雨に伴う洪水により早瀬川が氾濫した場合の氾濫流況の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

(4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流況）は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する建物は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境目は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 国土交通省関東地方整備局京浜川河事務所
- (2) 公表年月日 平成28年8月2日
- (3) 対象となる水位周知河川
鶴見川水系早瀬川（実施区間）
左岸：神奈川県横浜港浜北区高田東から鶴見川合流点まで
右岸：神奈川県横浜港浜北区新吉田東から鶴見川合流点まで
- (4) 算出の前提と主な降雨 鶴見川流域の48時間総降雨792mm
- (5) 関係市 ー

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(地図画像)、電子地形図25000及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情複、第1423号)」